

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 地歴公民 科目 日本史探求

教科： 地理歴史 科目： 日本史探求

単位数： 単位 3

対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 6 組

教科担当者： (1組：小野) (2～6組：山下)

使用教科書： (高等学校 日本史探求 (第一学習社))

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】 現代世界の歴史的特色と日本の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 日本史探求 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日本の歴史の大きな枠組みと展開にかかわる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身につけるようにする。	日本の歴史の大きな枠組みと展開にかかわる諸事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史的にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	日本の歴史の大きな枠組みと展開にかかわる諸事象について、よりよい社会の現実を視野に課題を主体的に探求しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
◎旧石器時代から日本列島の歴史的環境を理解し、時の転換を理解し、原始社会の特色や古代国家の特徴を多面的多角的に考察し、時代を通感する問いを発する。	第1章 原始・古代の日本と東アジア 1日 本文化の黎明 2 ヤマト政権と律令国家の形成 3 律令国家の変容	◎現在と異なる過去や現在と結びつくかについて探究することで、日本史を学ぶ意味や意義を見出している。 ◎各章にかかわる諸事象について、課題意識や見通しをもって学習に取り組んでいる。	○	○	○	8
◎中世がどのような時代だったのかを東アジア・ユーラシアの動向と関連づけて考察し、総合的にとらえて理解する。 ◎中世の国家や社会について主題を設定し事象の意味などを多角的に考察し、このような学習を通じて、思考力、判断力、表現力等の育成をはかり、中世の国家社会の展開について理解する。	第2章 中世の日本と世界 1 中世への転換 2鎌 倉幕府の展開 3室町 幕府の展開	◎現在と異なる過去や現在と結びつくかについて探究することで、日本史を学ぶ意味や意義を見出している。 ◎各章にかかわる諸事象について、課題意識や見通しをもって学習に取り組んでいる。	○	○	○	8
◎近世がどのような世界であったかを、世界の動向と関連付けて考察し、総合的にとらえて理解する。 ◎近世の社会や国家について主題を設定し事象の意味などを多角的に考察し、このような学習を通じて、思考力、判断力、表現力等の育成をはかり、近世の国家社会の展開について理解する。	第3章 近世の日本と世界 1 近世への転換 2 幕藩体制の確立	歴史的な事象についての正確な理解 意欲的な取り組み姿勢	○	○	○	7
◎中世から近世の国家社会の変容を多角的多角的に考察することで、近世から近代への転換を理解できるようにする。 ◎歴史の展開と歴史的環境の展開を関連づけて理解し、探求にむけた時代を通観する問を表現する学習を行う。 ◎歴史資料を活用する技能を育成するとともに、資料をもとに、近世の特色についての仮説を表現して学習にむけての展望をもつことを促す。	第3章 近世の日本と世界 3 幕藩体制の展開 4 社会の変化と幕府の対応	歴史的な事象についての正確な理解 意欲的な取り組み姿勢	○	○	○	10
			○	○	○	2

| ||

|

|

|

|

|

|

|

2 学 期	<p>◎歴史総合の内容をふまえた世界の情勢の変化とその中における日本の相互の関係や、日本の近現代の歴史を、多面的多角的に考察し理解し、それらをふまえて、現代の日本の課題を考察させ、構想させる。</p> <p>◎幕末から近代初頭の時期の歴史の展開と歴史的環境とを関連付けて時代の転換を理解し、近代の特色について、多角的・多面的に考察し、時代を通観する間が表現できる。</p>	<p>第4章近現代の地域・日本と世界</p> <p>1 近代への転換</p> <p>2 近代国家の形成</p>	<p>歴史的事象についての正確な理解</p> <p>意欲的な取り組み姿勢</p>	○	○	○	3
	<p>◎日清・日露戦争、第一次戦争について戦争が及ぼした影響などについて着目して、この時期の戦争の様相や背景、日本の国際的な地位の変化について、推移や考察を展開するための課題を設定できるようにする</p> <p>◎当時のさまざまな立場の人々が、日本のおかれた状況やあるべきすがたをどのように意識していたかを考えることができる。</p> <p>◎日本の工業化の進展について様々な主題を設定し、その間にたいして、さまざまな学習に取り組むことができる。</p>	<p>第4章近現代の地域・日本と世界</p> <p>3 国際関係の推移と近代産業の発展</p> <p>4 第一次世界大戦と日本</p>	<p>◎現在と異なる過去や現在と結びつくかこについて探究することで、世界史を学ぶ意味や意義を見出している。</p> <p>◎現代にかかわる諸事象について、課題意識や見通しをもって学習に取り組んでいる。</p>	○	○	○	10
	<p>◎軍部の台頭と対外政策について、政治、経済体制に変化に着目し、軍部の政治的な影響力について、推移や展開を主題とする問題を設定し、軍部が次第に政治的影響力をましていったことが学習できる。</p> <p>◎占領政策や諸改革、日本国憲法と制定などについて、国際環境の推移に応じて学習できる。</p> <p>◎戦後の経済成長や高度経済成長期の国民生活、などについて主題を設定し、それぞれについて学習できているか。</p>	<p>5 軍部の台頭と戦争の長期化</p> <p>6 日本の再建</p>	<p>歴史的事象についての正確な理解</p> <p>意欲的な取り組み姿勢</p>	○	○	○	9
	◎	7 経済の発展	<p>歴史的事象についての正確な理解</p> <p>意欲的な取り組み姿勢</p>	○	○	○	2
3 学 期	<p>◎世界恐慌とヴェルサイユ体制の崩壊を分析し、世界恐慌がヴェルサイユ体制の崩壊をもたらした過程を探究する。</p> <p>◎新しい国家秩序の形成について特色を分析し、戦後の国際秩序の意義を探究する。</p>	8 経済大国とグローバル化		○	○	○	1
	<p>◎冷戦の展開について分析し、どのような影響を与えたか探究する。</p> <p>◎冷戦体制の動揺について特色を分析し、冷戦体制が動揺した背景や意義について探究する。</p>	8 経済大国とグローバル化	<p>歴史的事象についての正確な理解</p>	○	○	○	8
	◎考察の結果や根拠を論理をもつ		<p>歴史的事象についての正確な理解</p>				

<p>て筋道をたてて説明したり、歴史にかかわる諸事象について、複数の解釈や、歴史の展開における様々な画期について考察した結果をすることができる。</p> <p>◎核兵器などに象徴される科学技術の利用の在り方や宗教・民族の紛争の頻発が地球的規模で破壊する脅威であることを理解させ、平和の構築について考える。</p>		<p>意欲的な取り組み姿勢</p>	○	○	○	<p>2</p> <hr/> <p>合計</p> <hr/> <p>78</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	-------------------	---	---	---	------------------------------------------